

2019年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月13日

上場会社名 ナトコ株式会社
 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285
 定時株主総会開催予定日 2020年1月28日 配当支払開始予定日 2020年1月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年1月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期の連結業績（2018年11月1日～2019年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期	17,701	4.5	1,543	4.8	1,519	4.2	978	△3.6
2018年10月期	16,934	7.1	1,471	0.7	1,458	△9.7	1,015	△6.6

(注) 包括利益 2019年10月期 933百万円 (19.4%) 2018年10月期 781百万円 (△44.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年10月期	129.71	—	5.4	6.5	8.7
2018年10月期	134.62	—	5.8	6.4	8.7

(参考) 持分法投資損益 2019年10月期 一百万円 2018年10月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期	23,912	18,369	76.8	2,435.11
2018年10月期	22,856	17,722	77.5	2,349.38

(参考) 自己資本 2019年10月期 18,369百万円 2018年10月期 17,722百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年10月期	1,875	△1,528	△289	6,970
2018年10月期	1,386	△195	△259	6,931

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年10月期	—	16.00	—	20.00	36.00	271	26.7	1.6
2019年10月期	—	18.00	—	22.00	40.00	301	30.8	1.7
2020年10月期(予想)	—	18.00	—	22.00	40.00		30.2	

3. 2020年10月期の連結業績予想（2019年11月1日～2020年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,670	△1.6	665	△11.1	675	△14.9	430	△14.4	57.00
通期	17,800	0.6	1,520	△1.5	1,540	1.3	1,000	2.2	132.56

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）NATOCO PAINT (THAILAND) CO., LTD.、除外 1社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年10月期	8,144,400株	2018年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	2019年10月期	600,923株	2018年10月期	600,923株
③ 期中平均株式数	2019年10月期	7,543,477株	2018年10月期	7,543,480株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（日付の表示変更について）

「2019年10月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績等の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
5. その他	18
(1) 役員の異動	18
(2) その他	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績等の概況

当連結会計年度(2018年11月1日～2019年10月31日)における世界経済は、米国は底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦の長期化や欧州経済の景気の冷え込みにより、総じて減速基調で推移しました。一方、わが国経済は、安定した雇用環境や個人消費の伸びを支えに、緩やかな回復基調であったものの、世界経済減速の影響を受け製造業を中心に生産や輸出が弱含みとなり、景気は足踏み感が強まりました。

このような状況のもと、当社グループは独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発を行うとともに、販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は17,701百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益1,543百万円(前年同期比4.8%増)、経常利益1,519百万円(前年同期比4.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益978百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 塗料事業

金属用塗料分野では、工作機械向け塗料「スーパーワン/Super One®」、環境対応の粉体塗料の受注は増えたものの、中国市場が景気減速の影響で低調であったため、売上高は前年同期に比べ僅かに減少いたしました。建材用塗料分野では、戸建住宅の新設着工が増えたことで需要増となり、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。一方、利益につきましては、原材料価格の高騰の影響を受け減少いたしました。

その結果、塗料事業における当連結会計年度の売上高は10,886百万円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益は1,213百万円(前年同期比10.4%減)となりました。

② ファインケミカル事業

スマホアクセサリ向けのコーティング剤や自動車内装用のコーティング剤が堅調であったことに加え、伸縮性に優れたフィルム向けのコーティング剤が新規採用され、売上高及び利益は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当連結会計年度の売上高は2,454百万円(前年同期比14.6%増)、セグメント利益は651百万円(前年同期比32.7%増)となりました。

③ シンナー事業

既存ユーザーへの販売量が順調に伸び、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。利益につきましては売上高増に加え、山口工場の減価償却費負担が軽減したことにより前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、シンナー事業における当連結会計年度の売上高は4,359百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益は289百万円(前年同期比41.5%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は17,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,157百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が316百万円、有価証券が300百万円、前渡金が221百万円、信託受益権が400百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円減少いたしました。これは主に建設仮勘定が82百万円増加したものの、機械装置及び運搬具(純額)が176百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は23,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,056百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,844百万円となり、前連結会計年度末に比べ391百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が144百万円、その他流動負債が248百万円増加したことによるものであります。固定負債は699百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が18百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ409百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の合計は18,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ646百万円増加いたしました。これは主に当期純利益を978百万円計上した一方、為替換算調整勘定54百万円、剰余金の配当により286百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.8%(前連結会計年度末は77.5%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より38百万円増加し、当連結会計年度末には6,970百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,875百万円（前年同期は1,386百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,500百万円、減価償却費609百万円、たな卸資産の減少154百万円による資金の増加と売上債権の増加133百万円、法人税等の支払378百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,528百万円（前年同期は195百万円の支出）となりました。これは主に、有価証券の償還、信託受益権の売却による収入8,400百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出536百万円、有価証券及び信託受益権の取得による支出9,100百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、289百万円（前年同期は259百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払286百万円によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年10月期	2016年10月期	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期
自己資本比率 (%)	76.6	78.2	77.1	77.5	76.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	35.3	33.3	46.0	37.2	40.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	13.9	12.1	11.4	11.7	8.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	5,778	67,590	10,418	89,709	123,936

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式総数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 次期の見通し

米中貿易摩擦による世界経済の不確実性が高まる一方、IoT、AIの様々な分野への活用など、将来の産業発展に向けた動きが加速しています。また、地球温暖化などを世界的に解決しようとするSDGsへの取り組みが重要視され、例えば自動車においては、電動化や燃費向上のため軽量化素材の活用など、時代の要請にも対応する必要があります。

このような状況のもと、当社は、「ユニークな発想で新しい価値を創造する」ことを基本理念に、絶えず独創的、革新的な研究と技術力の向上に努め、付加価値の高い製品を開発し、これを事業基盤としてグローバル展開を目指しています。事業活動にあたっては、お客様の満足度を第一とし、品質と機能において常に優れた製品、サービス、情報を提供することに努め、事業収益、経営効率の向上を図ってまいります。

次期の業績見通しは、売上高17,800百万円（当連結会計年度比0.6%増）、営業利益1,520百万円（当連結会計年度比1.5%減）、経常利益1,540百万円（当連結会計年度比1.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円（当連結会計年度比2.2%増）を見込んでおります。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1CNY＝15円、1USD＝105円を想定しております。

（2019.10.31時は、1CNY＝15.46円、1USD＝108.87円）

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当連結会計年度 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,208,891	7,525,609
受取手形及び売掛金	5,350,196	5,464,403
電子記録債権	305,119	310,634
有価証券	900,000	1,200,000
商品及び製品	1,192,114	1,032,988
仕掛品	36,933	34,160
原材料及び貯蔵品	636,884	624,171
前渡金	—	221,513
信託受益権	400,000	800,000
その他	105,284	78,928
貸倒引当金	△5,744	△5,539
流動資産合計	16,129,679	17,286,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,707,512	2,663,589
機械装置及び運搬具(純額)	1,259,656	1,082,801
土地	1,737,249	1,737,249
建設仮勘定	14,627	97,451
その他(純額)	167,033	198,278
有形固定資産合計	5,886,078	5,779,369
無形固定資産	175,462	164,280
投資その他の資産		
投資有価証券	439,708	448,672
繰延税金資産	73,546	68,071
その他	153,165	169,018
貸倒引当金	△1,236	△3,475
投資その他の資産合計	665,183	682,287
固定資産合計	6,726,725	6,625,938
資産合計	22,856,405	23,912,808

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当連結会計年度 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,164,980	3,074,299
電子記録債務	—	15,478
未払金	495,585	562,533
未払法人税等	179,512	323,722
賞与引当金	249,858	257,202
役員賞与引当金	36,800	36,300
その他	326,018	574,771
流動負債合計	4,452,755	4,844,307
固定負債		
繰延税金負債	5,744	9,617
役員退職慰労引当金	304,945	323,455
退職給付に係る負債	165,625	149,727
その他	204,867	216,487
固定負債合計	681,182	699,286
負債合計	5,133,938	5,543,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	12,676,948	13,368,783
自己株式	△516,255	△516,255
株主資本合計	17,103,571	17,795,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,286	179,038
為替換算調整勘定	459,771	405,728
退職給付に係る調整累計額	△17,162	△10,959
その他の包括利益累計額合計	618,895	573,807
非支配株主持分	—	—
純資産合計	17,722,466	18,369,214
負債純資産合計	22,856,405	23,912,808

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
売上高	16,934,104	17,701,409
売上原価	12,669,750	13,264,108
売上総利益	4,264,354	4,437,301
販売費及び一般管理費	2,792,439	2,894,176
営業利益	1,471,914	1,543,124
営業外収益		
受取利息	3,489	4,252
受取配当金	12,736	12,348
受取ロイヤリティー	10,000	10,000
物品売却益	20,141	20,129
その他	20,202	17,924
営業外収益合計	66,569	64,654
営業外費用		
支払利息	15	15
売上割引	11,585	11,537
為替差損	62,840	75,004
その他	5,835	1,496
営業外費用合計	80,277	88,052
経常利益	1,458,206	1,519,726
特別利益		
固定資産売却益	4,605	77
補助金収入	70,114	—
受取保険金	4,195	—
特別利益合計	78,915	77
特別損失		
固定資産処分損	7,534	18,820
固定資産圧縮損	65,869	—
特別損失合計	73,404	18,820
税金等調整前当期純利益	1,463,717	1,500,983
法人税、住民税及び事業税	431,189	519,458
法人税等調整額	17,006	3,037
法人税等合計	448,195	522,495
当期純利益	1,015,521	978,487
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,015,521	978,487

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
当期純利益	1,015,521	978,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147,831	2,752
為替換算調整勘定	△74,235	△54,042
退職給付に係る調整額	△11,678	6,202
その他の包括利益合計	△233,746	△45,087
包括利益	781,775	933,399
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	781,775	933,399
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,626,340	3,316,538	11,917,905	△516,252	16,344,530
当期変動額					
剰余金の配当			△256,478		△256,478
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,015,521		1,015,521
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	759,043	△3	759,040
当期末残高	1,626,340	3,316,538	12,676,948	△516,255	17,103,571

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	324,118	534,006	△5,483	852,641	—	17,197,172
当期変動額						
剰余金の配当						△256,478
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,015,521
自己株式の取得						△3
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△147,831	△74,235	△11,678	△233,746	—	△233,746
当期変動額合計	△147,831	△74,235	△11,678	△233,746	—	525,294
当期末残高	176,286	459,771	△17,162	618,895	—	17,722,466

当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,626,340	3,316,538	12,676,948	△516,255	17,103,571
当期変動額					
剰余金の配当			△286,652		△286,652
親会社株主に帰属する 当期純利益			978,487		978,487
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	691,835	—	691,835
当期末残高	1,626,340	3,316,538	13,368,783	△516,255	17,795,406

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	176,286	459,771	△17,162	618,895	—	17,722,466
当期変動額						
剰余金の配当						△286,652
親会社株主に帰属する 当期純利益						978,487
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	2,752	△54,042	6,202	△45,087	—	△45,087
当期変動額合計	2,752	△54,042	6,202	△45,087	—	646,747
当期末残高	179,038	405,728	△10,959	573,807	—	18,369,214

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,463,717	1,500,983
減価償却費	643,549	609,938
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	319	2,033
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,590	△10,840
受取利息及び受取配当金	△16,225	△16,600
支払利息	15	15
固定資産処分損益 (△は益)	7,534	18,820
固定資産売却損益 (△は益)	△4,605	△77
固定資産圧縮損	65,869	—
為替差損益 (△は益)	36,847	57,610
売上債権の増減額 (△は増加)	△303,375	△133,859
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△267,228	154,808
仕入債務の増減額 (△は減少)	244,968	△73,918
補助金収入	△70,114	—
その他	163,965	123,907
小計	1,975,828	2,232,821
利息及び配当金の受取額	16,242	15,793
利息の支払額	△15	△15
法人税等の還付額	31	5,920
法人税等の支払額	△605,275	△378,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,386,811	1,875,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△148,200	△510,700
定期預金の払戻による収入	150,600	238,600
有価証券の取得による支出	△5,200,000	△5,500,000
有価証券の償還による収入	5,366,180	5,200,000
信託受益権の取得による支出	△1,400,000	△3,600,000
信託受益権の売却による収入	1,400,117	3,200,000
有形固定資産の取得による支出	△421,571	△536,055
有形固定資産の売却による収入	4,624	77
無形固定資産の取得による支出	△13,977	△13,386
投資有価証券の取得による支出	△2,121	△2,188
差入保証金の差入による支出	△1,310	△1,990
差入保証金の回収による収入	714	1,236
補助金の受取額	70,114	—
その他	△1,030	△3,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,860	△1,528,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△256,180	△286,662
自己株式の取得による支出	△3	—
その他	△3,308	△2,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,492	△289,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,486	△19,849
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	935,945	38,318
現金及び現金同等物の期首残高	5,995,945	6,931,891
現金及び現金同等物の期末残高	6,931,891	6,970,209

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が118,351千円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が52,505千円増加し、「固定負債」の「繰延税金負債」が65,846千円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が65,846千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業活動を展開しており、「塗料事業」、「ファインケミカル事業」及び「シンナー事業」の3つを報告セグメントとしております。

「塗料事業」は、合成樹脂塗料等の製造販売を行っております。「ファインケミカル事業」は、高機能性樹脂・樹脂素材用コート材等の製造販売を行っております。「シンナー事業」は、純品シンナー・リサイクルシンナーの製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2017年11月1日 至 2018年10月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	塗料事業	ファインケミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,584,993	2,141,870	4,207,240	16,934,104	—	16,934,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,740	18,622	325,910	370,272	△370,272	—
計	10,610,733	2,160,492	4,533,150	17,304,377	△370,272	16,934,104
セグメント利益	1,355,227	490,909	204,825	2,050,962	△579,047	1,471,914
セグメント資産	9,263,449	1,947,463	3,452,060	14,662,973	8,193,431	22,856,405
その他の項目						
減価償却費	290,633	59,855	242,903	593,391	50,157	643,549
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	256,027	40,842	76,893	373,762	62,752	436,515

(注) 1. セグメント利益の調整額△579,047千円は、セグメント間取引消去33,227千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△612,275千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	塗料事業	ファインケミ カル事業	シンナー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,886,986	2,454,750	4,359,672	17,701,409	—	17,701,409
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,210	11,641	306,359	330,211	△330,211	—
計	10,899,197	2,466,392	4,666,031	18,031,621	△330,211	17,701,409
セグメント利益	1,213,883	651,349	289,795	2,155,028	△611,904	1,543,124
セグメント資産	9,384,083	1,978,253	3,506,741	14,869,078	9,043,729	23,912,808
その他の項目						
減価償却費	296,051	55,456	196,984	548,493	61,445	609,938
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	307,153	51,444	137,422	496,020	66,113	562,134

- (注) 1. セグメント利益の調整額△611,904千円は、セグメント間取引消去26,928千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△638,832千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものであります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
14,681,946	1,981,307	270,849	16,934,104

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	フィリピン	合計
4,520,869	1,328,398	36,810	5,886,078

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ニチハ株式会社	3,449,023	塗料事業・シンナー事業

当連結会計年度（自 2018年11月 1 日 至 2019年10月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
15,238,126	2,137,962	325,320	17,701,409

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	フィリピン	タイ	合計
4,571,044	1,164,910	35,647	7,767	5,779,369

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ニチハ株式会社	3,855,451	塗料事業・シンナー事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年11月 1 日 至 2018年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年11月 1 日 至 2019年10月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年11月 1 日 至 2018年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年11月 1 日 至 2019年10月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年11月 1 日 至 2018年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年11月 1 日 至 2019年10月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
1株当たり純資産額 2,349円38銭	1株当たり純資産額 2,435円11銭
1株当たり当期純利益金額 134円62銭	1株当たり当期純利益金額 129円71銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当連結会計年度 (2019年10月31日)
純資産の部の合計額(千円)	17,722,466	18,369,214
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	17,722,466	18,369,214
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	7,543,477	7,543,477

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,015,521	978,487
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,015,521	978,487
期中平均株式数(株)	7,543,480	7,543,477

(重要な後発事象)

(災害による損害の発生)

2019年10月の台風19号により、連結子会社である有限会社アイシー産業の工場が被災しました。当該災害により被害を受けた主な資産は、たな卸資産、機械装置及び運搬具等であります。

当該災害に伴う具体的な損害額及び復旧費用並びに翌連結会計年度の財政状態及び経営成績に与える影響については、現時点で算定中であり、未確定であります。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任監査役候補

社外監査役 林 克行 (現 弁護士)

・退任予定監査役

社外監査役 山田 靖典

③ 就任及び退任予定日

2020年1月28日

(2) その他

販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	前年同期比 (%)
塗料事業 (千円)	10,886,986	2.9
金属用塗料 (千円)	5,287,458	△0.8
建材用塗料 (千円)	5,370,500	6.0
その他 (千円)	229,027	19.9
ファインケミカル事業 (千円)	2,454,750	14.6
シンナー事業 (千円)	4,359,672	3.6
合計 (千円)	17,701,409	4.5

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。